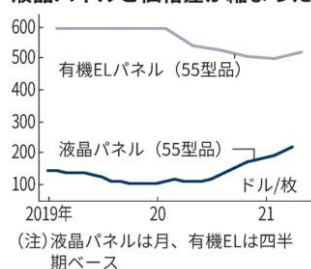


■液晶・有機EL・次世代ディスプレイ・部材

□有機ELパネル、TV販売増で約3年ぶり値上がり 4～6月、前期比4～8%高 2021. 6. 1

テレビに使う大型有機ELパネルの取引価格が5四半期ぶりに下げ止まり、約3年ぶりに上昇に転じた。指標品の4～6月の大口取引価格は1～3月に比べ4～8%ほど高い。巣ごも

液晶パネルと価格差が縮まった



り需要を追い風に有機ELテレビの販売が伸びた。液晶パネル価格の高騰が続き、価格差が縮んだことも一因となった。パネルメーカーは製品値上げで収益の改善を目指す。有機ELパネルは通常四半期ごとにパネルメーカーと最終製品であるテレビメーカーが交渉して価格を決める。4～6月の大口取引向け価格は、大型の65型品が1～3月に比べて70ドル(8%)ほど高い1枚865ドル前後。

流通量の多い55型品も、同20ドル(4%)高の1枚515ドル前後となった。値上がりは2018年7～9月期以来約3年ぶり。

□JNC、有機EL材料で韓国市場深耕、合併始動 2021. 6. 4

JNCが有機EL材料で韓国市場を深耕する。同国素材大手のSKマテリアルズと2021年4月に合併会社を設立。両社が持つリソースを掛け合わせて材料開発、顧客提案のスピードを上げ、早期に成長軌道に乗せる。有機EL材料事業として22年度に営業黒字化を果たし、中期的には売上高100億円規模に育てる計画だ。

□デクセリアルズ、差異化製品が車載向けに浸透、ACFなど 2021. 6. 7

デクセリアルズの差異化製品が車載ディスプレイ市場に浸透し始めている。回路接続に用いられる粒子整列型の異方性導電膜(ACF)は、高い接続信頼性が評価され、採用数が拡大。ディスプレイの開発コスト低減に寄与する強みも生かし、デファクト化を狙う。貼合に用いる光学透明樹脂(OCR)では材料ロスの少ないインクジェット(IJ)プロセスを提案しており、今後3年間で数件の受注を見込む。反射防止フィルムのほか、車載CMOSセンサー向けの精密接合用樹脂も伸長しており、車載分野へのシフトを急ぐ。

□インド、液晶国産化に200億米ドル投入の報道 2021. 6. 7

台湾の大手紙『経済日報』は2021年6月2日付で、インド当局が液晶パネル(TFT-LCD)の国産化計画を推進、現地のサプライチェーン構築に200億米ドル規模の投資奨励策を検討しているとの見方がインド現地のメディアから出ていたとし、日系、韓国系、中国系の参入が見込まれる一方、パネル業界が供給過剰のプレッシャーに直面する恐れもあると報じた。

□サムスン、PC 特需で液晶パネル生産を一転継続 来年末まで、「次世代」開発は苦戦

2021. 6. 8

韓国サムスン電子が、撤退を表明していた液晶パネルの生産を継続する。サプライヤー各社に 2022 年末までの生産延長を通達した。LG ディスプレーも生産を延長する。新型コロナウイルス禍でパソコンなどの需要が伸び、足元のパネル価格は前年の倍に高騰している。ガラス基板サイズが 220 センチ×250 センチの「8.5 世代」と呼ばれる製造ラインを継続稼働する。サムスは 20 年 3 月、液晶パネルの生産から「年内撤退」を表明。スマホ用の有機 EL パネルと、テレビ向けの次世代パネルに集中投資する方針を示していた。生産延長の裏には、サムスが次世代ディスプレイ開発を順調に進められていない事情もある。サムスは 19 年 10 月に独自描画方式の「量子ドット (QD) 有機 EL」と呼ぶ次世代パネルの量産を発表し、「マイクロ LED」など複数の研究開発も進めてきた。ただ量産プロセスの開発が当初計画から遅れている。

□サムスン電子、肌によって伸びて縮まるディスプレイ技術を開発

2021. 6. 8

サムスン電子がゴムひものように自由に変形が可能ながらも、素子の性能はそのまま維持される「ストレッチャブルディスプレイ」技術の開発に成功した。6 日、サムスン電子総合技術院は、人の肌につけて体の動きにより伸びて縮まる性能が低下しない「ストレッチャブルセンサーと有機 EL ディスプレイ開発研究」の結果を学術誌「サイエンスアドバンシス」に発表したと明らかにした。



□中型液晶パネル、大型ハイエンド品の前哨戦か、有機 EL 不在で差別化争い熱く

2021. 6. 14

ディスプレイ材料の技術開発トレンドとして中型液晶パネルに注目が集まっている。大型市場では白色有機 EL パネルがハイエンド品に位置づけられるため、液晶パネルは価格競争に重きが置かれている。ただ、中型では液晶パネルが主役になるため、各パネルメーカーが技術争いを繰り広げている。パネルメーカーの要請に応じ、各材料メーカーは相次いで新製品を投入中。中型で覇権を握り大型のボリュームマーケットを囲い込みたい考えた。

□OKI がマイクロ LED で協業を模索、複合集積フィルムを提供

2021. 6. 16



OKI（沖電気工業）は、マイクロ LED ディスプレー事業で協業を模索している。独自のエピフィルムボンディング（Epi Film Bonding=EFB）技術を用いた複合集積フィルムとマストランスファー技術をディスプレイメーカーや装置・部材メーカーに提供する考えで、マイクロ LED ディスプレーの早期事業化を目指す。

□新型 iPad で台湾勢急伸 分解調査

2021. 6. 18

シェア 2 位、中核半導体も製造 TSMC 集中でアップルに依存リスクも

ミニLED 日本勢には商機

米アップルのタブレット端末で、台湾製部品の採用が増えている。「iPad Pro」の最新モデルを分解調査したところ、価格ベースで台湾勢の比率は約 2 割と国・地域別で韓国に次ぐ 2 位に浮上。新たに導入した液晶ディスプレイ向け部品などが押し上げた。中核半導体の製造も担う。韓国が 4 割超のシェアを握っていた旧モデルから分散調達が進んでいる。液晶ディスプレイは LG ディスプレー製。技術面で象徴的な変化が 2 つある。極小の LED を使って画面の明暗を出す最新の液晶技術と自社設計の半導体「M1」。

□超微細な紫外線 LED チップ ナイトライドが量産技術を開発

2021. 6. 22

LED 開発のナイトライド・セミコンダクター（徳島県鳴門市）は超微細な紫外線 LED チップの量産技術を開発した。チップは縦 0.012mm*横 0.024mm で小麦粉の粒形なみ。拡張現実（AR）向けディスプレイなどの用途を見込む。

□シャープ、「mini LED 次世代ディスプレイ」開発。大画面テレビのさらなる高画質化へ

2021. 6. 30

シャープは、バックライトに小型の LED を採用し、高密度に敷き詰めて制御することで、液晶ディスプレイの輝度やコントラストなどの表示性能を“飛躍的に向上”させたとする



る「mini LED 次世代ディスプレイ」を開発したことを発表した。これによって「大画面テレビのさらなる高画質化を実現する」としている。今回、65 型の試作機を開発。小型 LED を 8,000 個以上バックライトに配置し、1,000 以上のエリアに細かく分割して駆動しているという。

こうして細かなエリア駆動によって、描写する映像に応じて各エリアの LED の点灯・非点灯をきめ細かく制御し、電力を効率的に活用。2,000nit (cd/m²) 以上の高いピーク輝度と、100 万 : 1 以上の高コントラスト比を実現したという。また、量子ドット技術によりバックライト光の波長変換を行うことで、従来機比約 1.2 倍の広色域表現も可能にした。

■タッチセンサー

□タッチパネルに触れず空中操作でオーダーできる飲食店オーダータブレットの販売開始

2021. 6. 14

知能技術株式会社（大阪市）は、飲食店の不特定多数お客様が利用するタッチパネル式のオーダー端末に触らず空中で指を動かすだけで注文できる非接触オーダータブレットの販売を 6 月 14 日に飲食店チェーンや単独飲食店向けに販売を開始した。既存タブレットにも後付け可能 ゴム手袋や厚手の手袋をはめた状態でも操作可能

□東海理化とアルプス、車載静電ディスプレイパネル開発 手払いで画面切替 2021. 6. 26



東海理化とアルプスアルパインは、非接触で一部操作を行える車載用静電ディスプレイパネルを共同開発したと発表した。指を近づけると画面上のアイコンを拡大できたり、簡単な手払い動作で画面を切り替えられたりする。カーナビゲーションシステムやオーディオなどに応用する計画。運転中の誤操作を減らし、快適な車内空間の実現につなげる。2024年の実用化を目指す。アルプスアルパインの高感度な静電容量検出技術を活用した。東海理化が全体の企画設計を担った。

■半導体

□超先端 2 ナノ半導体 TSMC が年内に試験ライン 世界で先行 2021. 6. 3

半導体世界大手の台湾積体回路製造（TSMC）は 2 日、超先端半導体の試験ラインを年内に台湾で完成する計画を明らかにした。量産工場の建設方針も示した。回路線幅は 2nm で、現在主流の先端品の 2～3 世代先を行く製品だ。ライバルである韓国サムスン電子との差をさらに広げ、独占状態が一段と強まる。

□世界の半導体市場 “55 兆円余りに” 去年より大幅に拡大 2021. 6. 8

世界的に需要が高まっている半導体について、世界の主な半導体メーカー44 社が加盟する統計機関「WSTS」は、ことしの世界の半導体市場が 5272 億ドル、日本円にして 55 兆円余りに上るという予測をまとめた。これは去年を 19.7%上回る規模で、世界的な需要の高まりを受けて大幅に拡大するとみている。

□EUV 露光、拡大に期待 蘭ASMLがペリクル開発、微細化に道 2021. 6. 10

EUV関連装置・部材	
装置	主なメーカー
EUV露光装置	蘭ASMLがシェア100%
EUV用フォトマスクの欠陥検査装置	レーザーテック、米KLA
EUV用コータ・デベロッパ（塗布現像装置）	東京エレクトロンがシェア100%
EUV用フォトマスク	大日本印刷、凸版印刷
EUV用マスクブランクス（フォトマスクの材料）	HOYA、信越化学工業、AGC
EUV用フォトレジスト	東京応化工業、JSR、信越化学工業

半導体回路の微細化に欠かせない「極端紫外線（EUV）露光」への期待感が高まっている。EUV露光装置を手がける蘭ASMLが、露光工程の歩留まり低下を防止する「ペリクル（防塵カバー）」を量産用途のEUV向けに初めて開発した。

□次世代パワー半導体材料、世界初の量産 タムラ製作所系

2021. 6. 16

電子部品のタムラ製作所や AGC などが出資するノベルクリスタルテクノロジー（埼玉県狭山市）は、次世代半導体材料である酸化ガリウムの 100 ミリウエハーの量産に世界で初めて成功した。ウエハーの提供は 2021 年内に開始する。

□半導体再興、「後工程」系口に イビデンなど 20 社超 TSMC と開発 2021. 6. 16 微細化伸び悩みで脚光

日本の半導体の実装技術が脚光を浴びている。半導体素子の微細化が難しくなるなか、半導体チップを積み重ねて性能を高める「3 次元積層技術」の重要性が高まっているためだ。日本にはイビデンや芝浦メカトロニクス、JSR など高度な技術力を持つ装置・素材メーカーが集う。TSMC も日本で最先端の積層技術の共同開発に乗り出した。

□パワー半導体市場は 2030 年には 4 兆円超えの規模に富士経済予測 2021. 6. 18

富士経済は、パワー半導体市場の現状と将来展望に関する調査結果を発表した。シリコンパワー半導体の 2020 年の売上高は前年比 4.0% 減の 2 兆 7529 億円であったが、2030 年には 2020 年比で 38% 増の 3 兆 7981 億円になるとしている。また、SiC、GaN、そして Ga₂O₃ といった次世代パワー半導体の 2020 年売上高前年比 9.6% 増の 514 億円で、2030 年には 2020 年比 4.8 倍の 2490 億円と予測しており、これらを合算した 2030 年の市場規模は 2020 年比 44.3% 増の 4 兆 471 億円になるとしている。

	2020 年	2019 年比	2030 年予測	2020 年比
シリコン	2 兆 7,529 億円	96.0%	3 兆 7,981 億円	138.0%
次世代	514 億円	109.6%	2,490 億円	4.8 倍
合 計	2 兆 8,043 億円	96.2%	4 兆 471 億円	144.3%

パワー半導体市場の予測（出所：富士経済）

□大日印、半導体製造の電力 10 分の 1 ナノインプリントで

2021. 6. 25

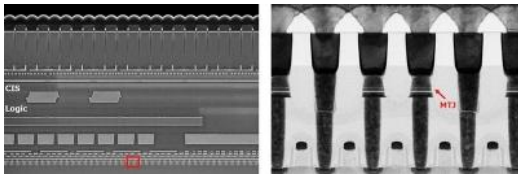


大日本印刷は、キオクシアホールディングス、キヤノンと共同で開発を進める「ナノインプリントリソグラフィ（NIL）」での半導体製造が極端紫外線（EUV）露光と比べ消費電力を 10 分の 1 に抑制できることを明らかにした。NIL は量産利用までに課題が多いものの、最先端の回路線幅が形成できている。NIL は型をウエハーに押しつけて微細な回路パターンを形成する。大日本印刷によれば、NIL は技術開発用で回路線幅 5nm ノードまで対応可能という。

■新技術、材料

□ソニー、メモリー一体の画像センサー 機器の高性能化に貢献

2021. 6. 2



積層チップの断面。

(左) 上からCMOSイメージセンサー、ロジック回路、最下段にSTT-MRAMが積層されている (右) MRAMのMTJの断面

ソニーグループはイメージセンサーのチップ上にメモリーを積層する技術確立した。センサーとロジック回路、メモリーを積層すると撮像からデータ処理、記録まで実現する。ワンチップでコンピューターとして機能するようになり、機器の高性能化や低価格化、小型化につながる見通しだ。

□量子技術、日米共闘で中国対抗 知の交流には支障も

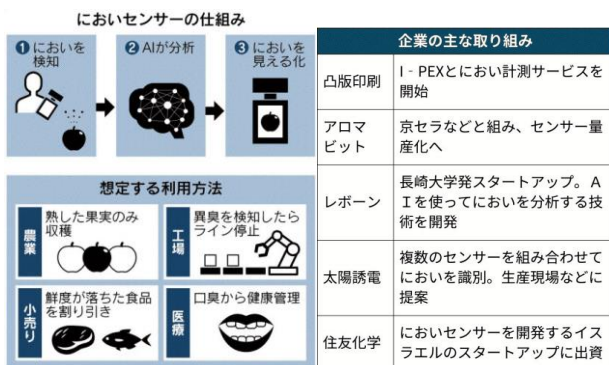
2021. 6. 7

次世代の高速計算機、量子コンピューターをはじめとする量子技術の開発・導入に向けて、日米が「共闘態勢」の構築に動き始めた。4月の日米首脳会談で連携を打ち出し、共同研究などの具体化を急ぐ。念頭にあるのは急速に研究力を高める中国の存在だ。同盟関係を重視するバイデン政権の発足を受け、日米が手を組んで対抗する。

□凸版、において体調管理 小型センサーで実用化

2021. 6. 11

凸版印刷は電子部品のI-PEXと組み、小型センサーと人工知能(AI)を組み合わせ、においを数値化するサービスを始めた。人間の五感のうち嗅覚はデジタル化が遅れていたが、超微細加工技術やAIの進化で実用段階に入る。



凸版などが展開する小型のにおいセンサー

□充電不安、人体発電で備え 汗や摩擦利用、スマホに給電？

2021. 6. 13

携帯する電子機器が増え、電池の「残量ゼロ」が脅威になった。充電すればよいとわかっていても、忘れてしまうのが人間だ。だが安心してほしい。私たちは食事を通じて日々、エネルギーを生み出している。「いざとなったら自分で」。人体を発電機に変える技術が不安解消に一役買う可能性が出てきた。

□産総研、湿度変化で発電 屋外センサー向け

2021. 6. 15

産業技術総合研究所は空気中の湿度変化を利用して発電する電池を開発した。電源のない屋外で使うセンサーなどの機器向けに活用が期待できる。企業と協力して、今後5年程度で実用化を目指す。

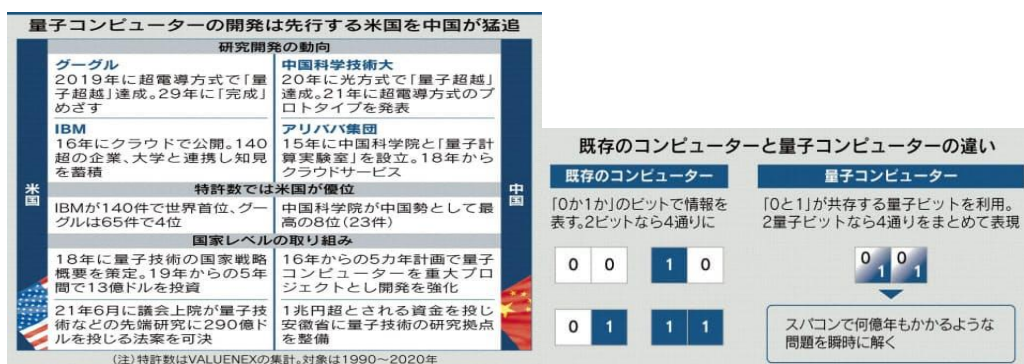
□住友化学、イメージセンサー用カラーレジスト、染料系で参入

2021. 6. 16

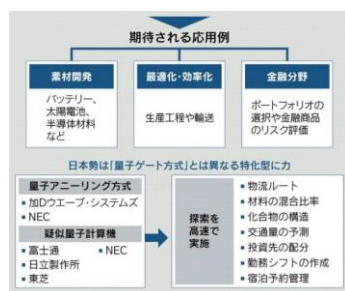
住友化学はCMOSイメージセンサー用カラーレジスト市場に参入する。同用途はRGBの顔料系レジストが用いられているが、透過率の高い染料系で差別化を図る。まずはシアン、マゼンタ、イエロー（CMY）の染料系レジストでニッチ市場を開拓する方針。今年度から量産を始める。そのほかマイクロレンズ材料や有機光ダイオード（OPD）など周辺材料も提案する。同社はディスプレイ用カラーレジストでトップシェアを握っており、満を持してイメージセンサー市場の開拓に乗り出す。

□量子覇権 米中勢が火花 グーグル、29年にも汎用品 アリババなど開発急ぐ

2021. 6. 26



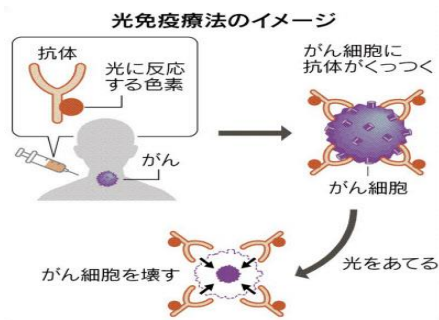
次世代の高速計算機、量子コンピューターの開発競争が熱を帯びてきた。2029年までの「完成一番乗り」へと突き進むグーグルなど米国企業を中国勢が猛追。海外新興や富士通など日本の企業も独自技術で存在感を高めている。量子技術を用いた計算は新薬開発や暗号解読などで既存のコンピューターの限界を打ち破る。産業界や国の安全保障戦略に与える影響は大きい。量子コンピューターが画期的な電池や薬を生むようになれば、企業の競争環境は一変する。究極的に進化すると現在のインターネット通信を支える暗号を解けるようになり安全保障にもかかわる。量子を制する国は次のハイテク覇権を握る。



□光免疫療法、がんを破壊 併用期待 広がる治験「将来8～9割に適用」

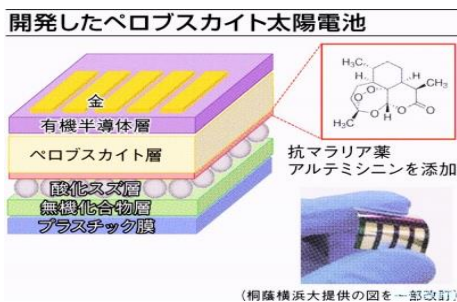
2021. 6. 26

光をあててがんを破壊する「光免疫療法」が注目を集める。2020年9月、治りにくい頭頸（けい）部がんを対象に、世界に先駆けて日本で承認された。開発者の米国立衛生研究所（NIH）の小林久隆主任研究員は「将来的に8～9割のがんに使える」と強調する。



□フィルム型太陽電池、抗マラリア薬で改良 桐蔭横浜大が変換効率 21%超

2021. 6. 28



桐蔭横浜大学の宮坂力特任教授らはフィルム型の次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の作製時に抗マラリア薬「アルテミシニン」を添加することでエネルギー変換効率の改良に成功した。厚さ $126\mu\text{m}$ の薄いプラスチックフィルム素子でエネルギー変換効率が既存品より 1.6 ポイント高い 21.1% を達成した。同効率が 20% を超えたことで発電能力が向上。素子面積を小型化でき、携帯用発電素子や I o T (モノのインターネット) 機器などに用途が広がる見込みだ。

□量子計算機、12 社共同利用 トヨタや三菱ケミ、新素材開発 産業革新へ知見蓄積

2021. 6. 30

トヨタ自動車など大手企業 12 社が次世代の高速計算機、量子コンピューターの実機の共同利用に乗り出す。米 IBM が近く日本で初めて稼働させる「商用機」を用い、産業用途での実用化へ協力して知見を蓄積する。トヨタや三菱ケミカルは新素材の開発などでの活用を想定する。超高性能の次世代計算機の活用でリードできるかどうかは将来の産業競争力や国の安全保障戦略を左右する。

企業が想定する量子コンピューターの主な応用例

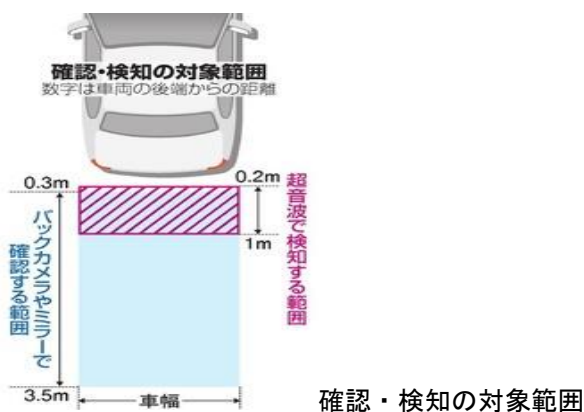
社名	概要
トヨタ自動車	素材開発や渋滞回避
三菱ケミカル	LEDや太陽電池の開発
JSR	フォトリソトや液晶ディスプレイ材料の開発
みずほFG、MUFG、三井住友信託銀	資産構成の最適化や精緻な信用評価
ボーイング(米)	材料の耐久性などの評価
ダイムラー(独)	EV用電池の開発
エクソンモービル(米)	素材開発や海上輸送の効率化
ゴールドマン・サックス(米)	金融商品のリスク評価、価格予測

■カーエレクトロニクス

□全固体電池迫る日独決戦 EV の航続距離 2 倍に トヨタ特許で先行 VW は米新興と開発
2021. 6. 4

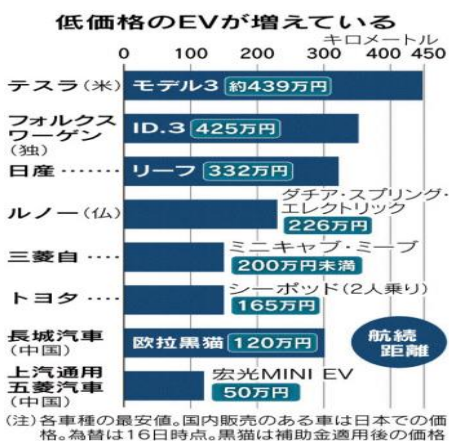
ポスト・リチウムイオン電池として期待される全固体電池の実用化競争が始まった。特許で先行するトヨタ自動車は年内に試作車の公開を検討する。独フォルクスワーゲン（VW）は米新興と組み電気自動車（EV）の航続距離を大幅に延ばす電池生産に 2024 年ごろから乗り出す。

□新車、バックカメラ義務化 後退時の事故防止へ国交省方針 来年 5 月から順次
2021. 6. 8



国土交通省は、自動車が後退する際に歩行者らが巻き込まれる事故をなくそうと、車のすぐ後ろを確認できる「バックカメラ」や、障害物の検知システムなどの装置を新車に設置することをメーカーに義務づける方針を固めた。来年 5 月以降の新型車から順次適用する。

□三菱自、200 万円切る EV 価格競争広がり普及期、中国勢と攻防激しく
2021. 6. 25



電気自動車（EV）市場で価格競争が広がってきた。三菱自動車は国内で 2023 年度までに軽自動車の商用 EV を 200 万円未満まで約 2 割値下げする。日本勢の EV で最安水準となる。仏ルノーは今秋、現行 EV の半額程度の新型車を欧州で出す。買い手の裾野が広がる普及期に入り、大衆化で先行する中国勢との競争が激しくなる。

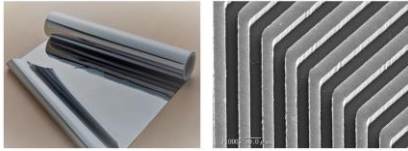
■ 5 G（第 5 世代通信）

□高周波対応配線形成用新シードフィルム、

2021. 6. 8

DIC、太陽インキ製造との共同開発品が第 53 回日化協技術特別賞を受賞

DIC は、太陽インキ製造（株）と共同開発した「高周波対応配線形成用新シードフィルム」が、第 53 回日化協技術特別賞を受賞したことを発表した。



この開発品は、次世代通信規格 5G の高周波帯域で使用される電子機器向けに開発したもので、DIC の金属ナノ粒子材料をフレキシブルプリント配線板用に展開するために開発されたフィルム材料。このフィルムに塗工されている DIC の金属ナノ粒子は、銅配線形成時の銅めっきのシード層として用いられる。

□AGC、ハイエンドフッ素樹脂が 5 G スマホ向けに採用、LCP 代替狙う 2021. 6. 15

AGC は、ハイエンドフッ素樹脂「EA-2000」の実績を上げ始めた。5 G（第 5 世代通信）スマートフォン部品向けの採用で、需要家ごとにスケジュールを組んで進めているという。5 G エリアの拡大に先行し、高周波材料としての本格的な採用拡大を見込む。

□ニチコンが新放熱材、5 G スマホ向量産へ メタマテリアルシート

2021. 6. 22

VSI の放熱イメージ

電子デバイスの熱源が発する赤外線波長を
選択的に放射し筐体を透過させて外部に熱を放出



ニチコンは新しい手法を採用した放熱技術を事業化するためオキツモ（三重県名張市）、K I S C O と業務提携した。機能性塗料を手がけるオキツモと東北大学が開発したメタマテリアル放熱シートを量産化するのが狙いで、すでに 15cm 角のシートタイプが完成し、サンプル出荷が可能になった。今後量産技術を確立し、第 5 世代通信（5 G）スマホ向けに早期の発売を目指す。オキツモと東北大学が開発した放熱シート「V S I（ヴィサイ）」は、電子デバイスの熱源が発する赤外線波長を選択的に放射し樹脂製の筐体を透過させて外部に熱を逃がすのが特徴。

■企業動向、製品動向

□ファーウェイ、スマホ再浮上へ独自 OS 米制裁に対抗

2021. 6. 4

中国通信機器最大手の華為技術（ファーウェイ）が、独自開発した基本ソフト（OS）の陣営づくりに乗り出す。2 日にスマートフォンへの対応を始め、2021 年末までに他社製品も含め 3 億台での利用を目指す。米政府の規制を受けスマホ出荷が激減するなか、ソフトでも稼げる体制を狙う。ただ OS 市場は米企業が寡占しており、収益化の道筋に不透明感もある。

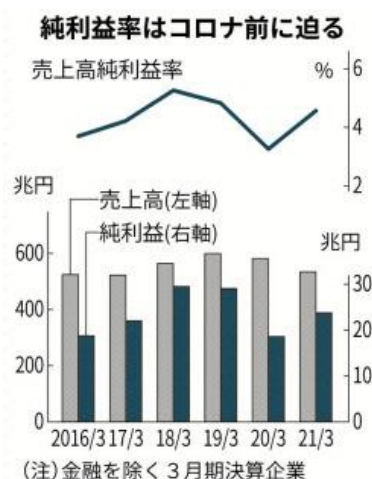
□上場企業の純利益率、巣ごもり関連・半導体が上位

2021. 6. 15

前期、コロナ前迫る 任天堂は 27%で 5 位浮上

順位	社名	純利益率 (%)	純利益 (億円)
1(一)	ソフトバンクグループ	88.6	439879
2(1)	塩野義製薬	37.6	1118
3(2)	キーエンス	36.7	1972
4(3)	日本 M & A センター	31.6	114
5(12)	任天堂	27.3	4803
6(14)	カブコン	26.1	249
7(9)	小野薬品工業	24.4	754
8(4)	カカクコム	23	117
9(11)	HOYA	22.9	1254
10(18)	エムスリー	22.4	378
11(15)	アドバンテスト	22.3	697
12(8)	SMC	22.1	1217
13(13)	ディスコ	21.4	390
14(21)	ZOZO	21	309
15(40)	タカラバイオ	20.7	95
16(10)	信越化学工業	19.6	2937
17(一)	ディー・エヌ・エー	18.7	256
18(147)	三菱倉庫	18.3	391
19(6)	科研製薬	17.9	134
20(306)	川崎汽船	17.4	1086

(注) 金融を除く日経 500 種平均株価の採用銘柄の 21 年 3 月期。
カッコ内は 20 年 3 月期、一は赤字で算出できず



上場企業の収益性が改善している。2021 年 3 月期の売上高純利益率は 4.5%と前の期から 1 ポイント超改善し、新型コロナウイルスまん延前の 19 年 3 月期（4.8%）に迫った。個別企業をランキングすると、上位にはスマートフォン向け需要が旺盛な半導体や巣ごもり関連が目立つ。コロナ禍で経営環境が激変する中、稼ぐ企業の顔ぶれも変わってきた。金融を除く日経 500 種平均株価の採用銘柄を対象に集計した。特徴的だったのは、コロナ禍で存在感を示した企業が上位にきていることだ。

位から 6 位にあがった。

□ウイグル問題、電子部品に波及 中国オーフィルム、Apple と取引打ち切りか

2021. 6. 16

中国の新疆ウイグル自治区を巡る人権問題の影響が電子部品業界に波及してきた。中国大手の欧菲光集団（オーフィルム）はスマホ向けカメラ部品の主力工場を売却。ウイグル問題への関与の疑いが浮上し、大口顧客の米アップルが取引を打ち切ったことが背景とされる。新疆綿の使用を中止する動きが世界のアパレル企業で相次いだ、幅広い業種に影響が広がる可能性がある。

□中国、異例の電力不足 製造業集積の広東省で操業制限

2021. 6. 20

ものづくり企業が集積する中国南部の広東省が異例の電力不足に見舞われている。少雨や石炭の価格上昇で計画通りの発電ができないうえ、内陸部の急速な工業化に伴って電力需要が増加していることが要因となっている。電力の使用制限も導入されており、企業からは長期化することに懸念の声が出ている。現地のメディアによると広東省の今年1月から4月上旬の降水量は前年同期の4割にとどまり、平均温度はセ氏2.2度高い。水力発電の稼働が落ち、空調や冷蔵設備の電力需要が高まっている。

□Windows 11 発表 Android アプリが動作するように

2021. 6. 25

米 Microsoft は、Windows OS の新バージョン「Windows 11」を発表した。



新 OS 「Windows 11」

外観のアップデートは、すりガラス風の透明感を基調にした UI、タスクバー内のアプリアイコンの中央寄せ、ウィンドウのスナップ機能の新規レイアウト、各ユーザーにパーソナライズした天気やニュースウィジェットの追加など。Android アプリが Windows 11 上で動作するようになる。正式リリースは 2021 年内と言及しているので 12 月ごろになると思われる。Windows 10 から無償でアップデートできるとしている。

□タッチ液晶搭載でウェアラブルに！スマートに進化した新型たまごっち

2021. 6. 28

バンダイは、携帯型育成玩具「たまごっち」シリーズの最新機種「Tamagotchi Smart（たまごっちスマート）」を 11 月 23 日に発売すると発表した。「たまごっち」は、1996 年の発売開始以降、海外でも展開し、全世界でシリーズ累計 8,300 万個以上を販売（2021 年 3 月末時点）。時代とともに幾多の進化を遂げてきた「たまごっち」が、誕生 25 周年を迎える今秋に「Tamagotchi Smart」として登場する。



©BANDAI

「Tamagotchi Smart」は、「“スマート”なたまごっち」をコンセプトに、時代に合わせた新機能を搭載。まず注目したいのは、スマートウォッチのように身に付けて持ち歩ける形状を採用したこと。身に着けることで、歩数がカウントされてたまごっちのリアクションが変化するほか、動きを検知して遊べるダンスゲームなども楽しめる。

■その他

□海へマスクごみ「15億枚」漂着マスクが激増、実はプラスチック製 野生動物誤食も

2021. 6. 11

新型コロナウイルス流行によるマスクの大幅な消費量の増加が、海洋プラスチックごみ問題に拍車をかけている。マスクの多くは実はプラスチック製だ。海に流れ出たマスクは1年間に15億枚との環境団体の試算があり、野生生物の命を脅かす例も報告されている。不織布マスクやウレタンマスクの多くは、ポリプロピレンやポリウレタンといったプラスチックから出来ている。こうした人工的に作られた化学繊維は、自然界で分解されにくい。長い期間、海の中を漂い、分解されるまでには450年程かかるとの指摘もある。

□「未来への投資」映す消費 環境配慮商品/買い物テック

2021. 6. 16

日本経済新聞社は2021年の上期（1～6月）の日経MJヒット商品番付をまとめた。

MJ 2021年上期ヒット商品番付		
東	横	西
サステナブル商品	綱	買い物テック
携帯新料金プラン	大関	ノンアルコール飲料
郊外生活	関脇	シン・エヴァンゲリオン劇場版
アサヒビール「スーパードライ 生ジョッキ缶」	小結	帝国ホテル東京「サービスアパートメント」
ジェンダーレスファッション	前頭	テレワークスーツ
有機ELテレビ	同	パナソニック高級トースター「ビストロ」NT-D700
冷凍食品	同	呪術廻戦
アップル「マックブックエア」	同	タイガー魔法瓶「土鍋ご泡火炊き」JPL-A
トヨタ自動車「ヤリス クロス」	同	スバル「レヴォーグ」

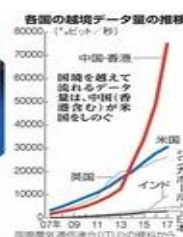
(注) 2021年上期の消費動向や売れ行きなどを基に担当記者がランク付けした。前頭は抜粋

□中国旗と並ぶ赤いアップル データ囲う思惑、米に危機感

2021. 6. 21

データ収集米中攻防 機密流出互いに警戒感強める AI 戦場も世論も制する力に

中国南西部にある貴州省の省都・貴陽市から、車で南に1時間ほど。緑が広がるのどかな場所に、突然巨大な建物が現れた。中国国旗と並び、米アップルの旗が翻る。リンゴのモチーフはよく見る薄いグレーではなく、赤だった。周りを見渡すと低い山が取り囲む。建物はほとんどなく、人気は少ない。巨大な入り口の門では、警備員が頻繁に外に出てきて周囲を警戒し、門の前の公道を歩いただけの記者にその場を立ち去るよう求めてきた。





米アップルが運営を委託した中国企業のデータセンターではアップルの赤いロゴの旗が翻っていた

口米中の板挟みになる日本企業 全解明 経済安保

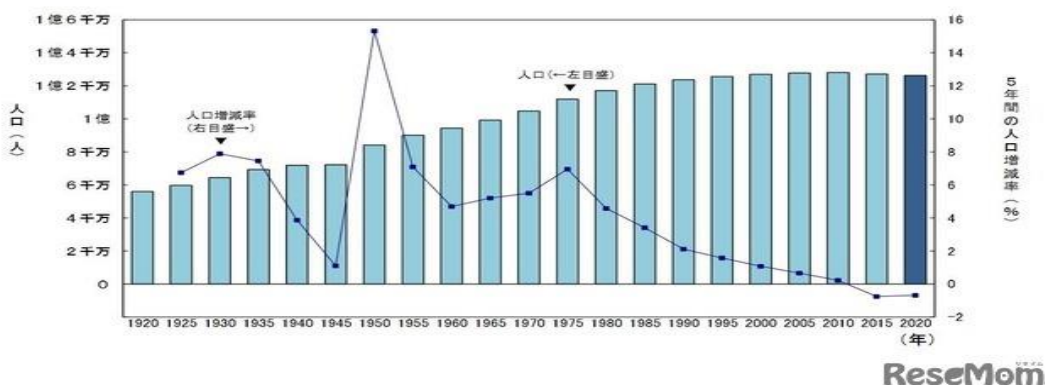
2021. 6. 26

先端技術をめぐる米中の争いは、日本に大きな影響をもたらす。グローバル化と自由主義経済を謳歌する時代は終わりを迎えた——。経済同友会が今年4月にまとめた提言「強靱な経済安全保障の確立に向けて」は、国家の安全保障と企業経営を一体に考えるべきだ、という強いメッセージを発して話題を呼んだ。背景にあるのは、深刻化する米中間の対立だ。軍民融合路線を推し進める中国に対し、米国は輸出規制を強化している。2019年5月には中国ファーウェイに対する事実上の禁輸措置を発動し、20年8月に米国の技術に関わる半導体やソフトがファーウェイに渡るルートを完全に遮断した。自国産業の育成・振興も競い合っている。両国は先端半導体をはじめとする国産サプライチェーンの構築を急ぎ、兆円単位の巨額支援を行うことを決めている。経済同友会の提言はそうした問題意識に基づく。「経済力や先端技術が外交交渉の武器になっている中、経営者が安全保障に関心であってはならない」と、経済同友会副代表幹事（国際問題委員長）でJSR名誉会長の小柴満信氏は危機感を示す。

口総人口1億2622万人、5年前より86万人減 国勢調査速報

2021. 6. 26

図 I - 1 人口及び人口増減率の推移（1920年～2020年）



総務省は2021年6月25日、2020年（令和2年）国勢調査人口速報集計結果を公表した。日本の総人口は1億2,622万7,000人。5年前の2015年と比べると、86万8,000人減少した。もっとも人口が多いのは東京都で、1都3県の東京圏が全体の約3割を占めている。国際連合の推計によると、2020年の世界の人口は77億9,500万人。各国の人口は、中国14億3,900万人、インド13億8,000万人、アメリカ3億3,100万人と続いており、日本の人口は世界11番目となっている。

以上 14